第14回 まちづくり町民会議

2020/2/26 PM7:00

@議場

《式次第》19:00~20:00(60分)

- 1 会長あいさつ 5分
 - ・議場利用について
- 2 与論新庁舎等視察報告 40分
 - ・新庁舎報告(金城さん)補足(朝戸さん・前田さん)
 - ・ 与論町商工会(宗岡さん)
 - まなび島、フリースクール(長山さん)
 - ・総括(外山さん)
- 3 知名町新庁舎基本計画(案) 20分
 - 追加事項説明
 - ・計画の遅れについて
- 4 事業施策提案の協議方法について 20分
- 5 その他 5分

配布資料

- 式次第
- 資料1 知名町新庁舎基本計画(案)
- 資料2 与論町新庁舎等報告
- 資料3 住民説明会の開催日等について(諮問)

2019年度町民会議の目標

【月標】

まちづくり:住民目線での課題と、将来こんな知名町になってほしい提案

新庁舎建設:新庁舎の基本設計への意見をする



事業施策提案の協議方法

- 1 4つのグループ分けを行います。
 - まちづくり推進委員は年齢・性別を考慮して配置します。
- 町職員は、係長級以上で、幅広く業務に精通している職員を配置します。 (現在、調整中)
- 2 リスト内容について、それぞれで協議し、最後は全体会で協議を行います。
 - グループ協議について (概要説明・課題の整理・緊急性等・課題解決の 進め方)
 - ・全体協議について (緊急性・重要性を整理、課題解決方法等協議)
 - 10月までに全体協議を終え、従来型・未来型でそれぞれ一つずつに絞り ます。また、それを提案レベルまでに
 - ・中、高校生を交えた意見交換会も予定

*協議する様式や、手順及び進行役・記録役(案)を令和2年次回開催までに 提示いたします。

リスト

【従来型】

- 1 介護職・保育職に特化した移住誘 9 空き家等対策事業 導事業(人材バンク制度の創設・移住 10 農業研修制度の導入) 支援)
- 2 シルバー人材センターについて
- 3 学びのポータル化
- 4 学びを支える学力向上推進
- 5 住宅改修費・介護予防改修費
- 6 沖永良部の綺麗な海を守ろう
- 7 百合球根振興協議会補助金
- 8 ごみの資源化等*ー度協議済み

- 11 子育て支援
- 12 児童虐待防止対策
- 13 高齢者見守りサポート等
- 14 時間外受付ポストの設置
- 15 髙反収作物の導入
- 16 新規就農者支援、高齢者介護の 為早期退職
- 17 観光宣伝・農産物販売促進

【未来】

- 1 買い物サポート
- 2 みんなの学校(従来型と重複)
- 3 定住・住宅対策(従来型と重複)



まちづくり町民会議 与論町新庁舎等視察報告書

参加者(敬称略)

- ① 会長 外山 利章
- ② 公募委員 朝戸武勝、前田安彦、金城良太郎
- ③ アドバイザー 石田秀輝
- ④ 委員(自薦) 宗岡 須賀美、長山美香
- ⑤ 議会 根釜 昭一郎
- ⑥ 担当 永野 道也

期間: 令和2年1月17日(金)~18日(土) 1泊2日

視察先

1月17日 和泊町新庁舎(対応:総務課 有馬)

与論町新庁舎(対応:総務企画課 竹村)

まなび島 (田畑)

1月18日 フリースクール

朝戸集落 (池田)

1月17日(金)

【和泊町新庁舎視察】

まちづくり町民会議委員と視察しました。その中で担当者から庁舎が建設して 1 年が経過した後の問題点等についてご教示頂きましたので報告します。

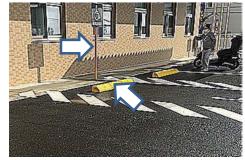
・庁舎入口の駐車場について、視覚障がい者用に、床のパネルを駐車場から入口までパネル





の色塗りをし直した、(その場合、通常の 床より濃い色に変更) ・駐車場の障がい者専用駐車場の掲示板色を白から黄色に変更。掲示板が壁ではなくポール

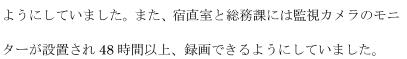
に取り付けているため、視覚障がい者がポールに ぶつかるとの指摘があったため。車止めの色も黄 色に着色した。



- ・宿直室については、事務フロアと畳(3畳)に段 差があり、利用勝手が悪く畳部分が狭いとのこと。
- ・宿直室にはトイレとシャワー室を奥の部屋に整備され、宿泊時 は便利とのこと。



・庁舎入口と裏口にインターホンをおいて、宿直室から休日の来客対応できる



・窓口毎に衝立が必要になったとのこと。



・課の業務と名前を示す案内が、部屋の上についているが、通路からすべて見えない場所があったので、通路から見えるよう後日、やり直しをしたとのこと。

・町長室等(教育長・副町長室含む)に歴代の町 長顔写真を掲示する押さえは跡付けになったと のこと。町長室はそれ以外に姉妹都市等を掲示し ていました。



- ・和泊町は案内に展示パネルを導入していました。
- ・和泊町の会議室は「防音対策」の壁パネルを利用していました。これは必須だと思いました。 た。
- ・西日対策をとるために、壁をいれたが、業務をしてみると西日対策が必要であったとのお と。(与論町も同様な案件が出ています)
- ・文書整理は基本方針を決めて、後は各課任せてあったせいかゴミゴミした感は庁舎オープン時とかわらないようでした。それでも本庁よりは、かなり良かったので令和2年度は文書整理スタートの必要性を強く認識しました。
- ・議場の傍聴席は、後付けで議員と同じマイク付きスピーカーを跡付けで設置していました。 町民から聞き取りづらいとの指摘があったそうです。



・各課の籠はコンパクトでしたが、最下段は取りづらい ので、空けたほうが良いと思いました。

【与論町新庁舎】

全体として、私自身が固定で置かなければいけないと思っていた物や、必要と思っていた ことを「その時にしか使わないから」という考えをもとに費用を抑えている取り組みが必要 と認識できました。



・入口の自動ドアが2つになっているが、両方ともボタンを押して利用する自動ドアでし



t-

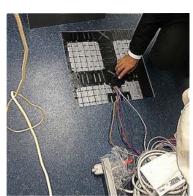
- ・外壁のタイルはコンクリート内部の鉄筋が錆びるのを防ぐものを使用していました。
- ・窓はほぼすべて2重構造でした。
- ・庁舎の外観に西日よけの壁を作ったようですが、西日対策はそれでも不十分とのことでした。



- ・通路は狭かったです。そのかわり、住民用のいすは受付のみでした。(転入転出時期は混雑が想定されるが、その時期だけでという方針のようでした)
- ・事務フロアは OA パネルでした。

した。

- ・通路と事務フロアは色分けをして境界としていました。ただ、薄い色を利用すると汚れが目立つとありました。和泊町は逆に汚れたら職員が掃除を徹底するとありました。
- ・エレベーターは和泊町と同じぐらいの約 14~15 人ぐらいでした。本町も同規模程度がいいと思ったのは、今回宿泊した青海荘の4人乗りでは非常に圧迫感を感じました。
- た青海荘の4人乗りでは非常に圧迫感を感じました。
 ・全体としてインクルーシブなデザインや、再生可能エネルギーの導入はほぼありませんで



・庁舎外には、木造建ての書庫(棚は、職員の手作り)。収容能力は、和泊町よりも多く感じました。また、車庫は鉄骨造で、マイクロバス1台と消防車両2台をとめており、当初は周りを囲んでいませんでしたが、町消防団などとの協議の末、シャッター設置で回りを囲む工法に変更したとのこと。







- ・発電機室とキュービクルは同じ、フロアに設置し、発電機燃料は外にタンクを設置し、自動給油で3日間持つようにしていました。
- ・室外機は庁舎1階の裏側、屋上にまとめて設置していました。





・階段の手すりは上下に2つ設置していました。理由を聞くのを 失念していました

・議場の傍聴席は、靴のまま入れるタイプでした。また、椅子は固定式の椅子ではありませんでした。(正直、驚きました。)



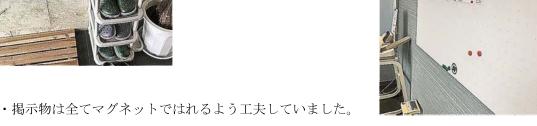


・議場は、スリッパですが、 フラットタイプでした。配置 は本庁の議場と同じで、執行 部と議員は対面方式で、議員 の後ろが傍聴席でした。

- ・町長室は歴代の町長顔写真を飾るため、初めから金具を設置していました。
- ・喫煙所については、与論町職員喫煙者は5名のみで、庁舎→鉄骨駐車場の一番後ろに灰皿 を置いてあるだけでした。
- ・事務用品は、町内事業所も指名にいれたが、辞退したとのこと。
- ・新庁舎から中央公民間までは用地購入ができており、拡幅を広げていました。
- ・旧庁舎は、とりあえず解体し、人の流れなどをみながら活用方法を決めるとのこと。費用 については、計算中とのこと。
- ・旧庁舎と商店街の関連については、特に問題を感じていないようでした。



庁舎入口には、靴に泥がついているのを気にする人用にスリ ッパを準備していました。



- ・ゴミは指定袋でなく、庁舎一か所に集めゴミの事務を担 当する課が捨てに行くそうです。



【与論町商工会】

与論町商工会で、田畑商工会長から以下のお話を聞きました。

当初、与論町でも庁舎が移転することによって、人の流れが変わることを危惧していたよ うですが、商工会員を2グループにわけ、喜界町と天城町の視察に行ったのですが、喜界町 は A コープがはいることで人の流れは継続していたようですが、天城町の場合は製糖工場 が移転のほうが、人の流れに影響がでて商店街が衰退したそうです。

このことから与論町では、庁舎という点ではなく、人の流れを生み出すことが重要と考え、 商店街と新庁舎を結ぶ主要道路アクセスの改善について、与論町に提案したとのことです。 それに伴い、茶花小学校付近の道路拡張工事が現在進行していました。

田畑会長は「ピンチはチャンス」とおっしゃっていました。ちなみに与論町商店街につい てシャッターが閉まっているお店はあまり見かけることがありませんでした。

本町においても、すでにバイパスがり商店街との交通アクセスが取れていると思います。 もし、あらたに縦に道路を一本入れた場合、その用地購入費用は計り知れないと思っていま す。なので、庁舎というよりは、どうやったら商店街へ人の流れができるような施策を打つ べきではないかと思いました。

【まなび島視察】

元リクルート社員で、与論町出身の田畑さんが、島の子どもたちの未来を考えるため、まなぶことについて、子供たちが真剣に向かい合う場として、学習塾を開いています。その学習塾は、スケジュールは子供たち自身でかんがえ、自分で考え行動するためのキャリアアップ学習に取り組んでいることについてお話を頂きました。

ただ、町の支援がないことや、学校現場の理解が得られていない状況でした。

1月18日(土)

【与論 オーガニック等への取り組み】

- ・しまらっきょをオーガニックで栽培している畑を視察し、その規模や販路について視察しました。
- ・近年、与論町でも児童生徒数は減少傾向にあるものの、それに反比例して不登校者が増えていることもあり、独自で取り組んでいるフリースクール(代表酒匂さん)のお話を伺いました。
- ・朝戸集落 池田区長と娘さん、与論町役場保健福祉課 龍野補佐と集落の運営方法や集落 独自で実施している「七夕まつり」(行政の支援なしで、ゴミなどを出さないロハスなここ ろみ)について、意見交換を行いました。

「まとめ」: まちづくり町民会議のメンバーと与論町新庁舎視察等にいってきましたが、私

たちの想定を超える取り組みが、和泊町・与論町で見ることが出来、担当職員からの生の話 を聞くことができ、大変勉強になりました。

和泊町では、建設した後やはり見直しをして改修する必要があったことや、与論町の必要 最低限の整備については、知名町新庁舎建設の参考になりました。

また、それ以外でも与論町商工会・まなび島・オーガニックの取り組みなど視察できて、 有意義な出張だったと思います。

出来れば、私たち職員の知識・資質向上も含め、「知り、理解し、行動にうつす」研修が 今後とも町民を含め実施できるよう計画したいと思いました。

船にて帰庁。

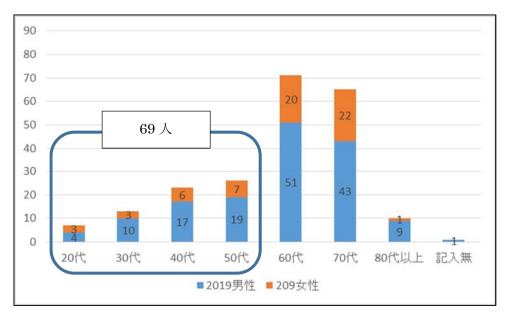
住民説明会の開催日等について諮問

- ・諮問者 町長
- ・諮問内容 住民説明会に子育て世代の20歳から59歳の参加が少ない為、開催日・時間 について(校区説明に追加で日曜日、日曜日の午前と午後に世代分けをして実施)
- 1 2018 及び 2019 男女別世代別参加者について

2018 191名 (男性 133名・女性 54名・記入無4人)



2019 216 名 (男性 154 名·女性 62 名)



2019年実施は、役場全職員へ参加を呼びかけ